

ETF3本×5銘柄の分散投資“リスパリ”で株式投資より安定して勝てる

「誰もが儲かる、わけがない」をぶち壊す

投資革命

2024年
12月10日発売

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は堂瀬 とうしろう 著『誰もが儲かる、わけがない』をぶち壊す 投資革命』を2024年12月10日(火)に刊行いたします。

世界水準の投資方法“リスクパリティ戦略”をわかりやすく解説

多くの人は、高いリターンを得るためには、株式投資で高いリスクを取らなければならないと考えています。しかし、真実はその「逆」です。大きなリスクを取り続けると、いずれ致命的な損失を被ります。だからこそ、**分散投資で壊滅的な損失のリスクを最小限に抑えることが、リターンを最大化する鍵**となるのです。

本書では、シンプルな分散投資を進化させた投資革命、「**リスパリ(リスクパリティ戦略)**」をご紹介します。ちょっと「抽象的」で「難解」だけれども、絶対に負けない投資方法を図を豊富に用いて解説。読者のリスク許容度に応じた**4種類の鉄板ポートフォリオを包み隠さず公開**し、その再現性の高さを過去50年間のデータ分析で証明しました。投資初心者でも株価暴落を恐れずに安定したリターンを得られ、最終的に株式投資を超えるリターンを得られるようになる1冊です。

「誰もが儲かる、わけがない」をぶち壊す

タイトル:投資革命

著者:堂瀬 とうしろう ページ数:208ページ
発行日:2024年12月10日 価格:1,760円(10%税込)
ISBN:978-4-86667-722-4

【目次】

- 第1章 新NISAブームに潜む株式投資の罠
- 第2章 どんな経済環境でも強いリスパリ
- 第3章 バックテストで読み解くリスパリの真価
- 第4章 レバレッジ×分散投資で株式投資に勝つ方法
- 第5章 リスパリに弱点は存在するのか？

【プロフィール】

堂瀬とうしろう(どうせ・とうしろう)

1978年生まれ、億り人・個人投資家。米国カリフォルニア州不動産ブローカー試験合格者。中央大学法学部卒業。日本赤十字社の財務部門で300億円超の資金運用(債券・現預金など)に従事。不動産ファンド運用会社で取締役を務める。現在はFIREを達成し、どんな投資初心者でも3本のETF(上場投資信託)と5銘柄だけで株式投資に勝てるリスクパリティ戦略を独自に考案する。



単一の資産クラス(ここでは株式投資を指しています)には高いリスクが付きまといまいます。なぜなら、「**株価の大暴落**」「**株価の長期低迷**」「**ボラティリティ(株価の乱高下)**」という3大リスクを覚悟して、そのまま受け入れなければいけないからです。

リスク①「株価の大暴落」

多くの人は暴落相場になると、メディアには、恐怖を煽るような報道が増えて、長期保有すると固く決めていた投資家も耐えられずに、安値でパニック売りに走ってしまう傾向が強くなります。

リスク②「株価の長期低迷」

市場が長期的に不安定で逆境に見舞われたときに、信念や忍耐を欠くと、過剰なリスクを取る売買に走ったり、投資から撤退したりするリスクが高まります。

リスク③「ボラティリティ(株価の乱高下)」

株式投資はボラティリティが高く、リターンへの分布は歪んでいます(少数のとても良い期間が全体の平均を引き上げています)。そのため、平均リターンを確実に得られるという判断で投資することは極めてリスクが高いのです。

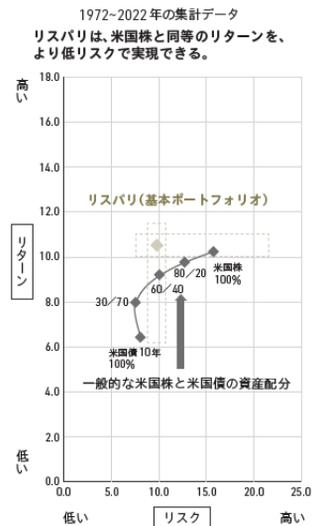
安定したリターンを生み出す投資方法「リスパリ」

※本書より一部抜粋

リスパリとは、「**リスクパリティ戦略**」の略称です。バランスの取れたポートフォリオを長期で保有する分散投資です。

リスパリのポイントは、ETFやコモディティの代表的な銘柄を使って、市場平均をできる限り低コストで買うことです。金融業者が銘柄選びをするアクティブファンドは使用しません。

過去50年間にわたる長期のバックテスト(過去データでの検証)を見てください。リスパリのデータは、**米国株100%のポートフォリオと同等の高いリターンを達成しています。リスパリは米国株よりも低リスクで同等の高リターンを得られる優れた投資戦略なのです。**



4つの経済環境で資産を選択する

※本書より一部抜粋

どんな経済環境にも耐えられるチームワークを重視したポートフォリオを作るにはどうしたらいいのでしょうか。

高成長に最適な資産クラスと、低成長に最適な資産クラスは異なります。同様に、高インフレに最適な資産クラスと、低インフレに最適な資産クラスも異なります。

ですから、まずはポートフォリオに各資産クラスの強みを取り込むために、経済環境ごとに優れたパフォーマンスを発揮する資産を2つずつ均等に見つけます。すなわち**高成長、低成長、高インフレ、低インフレの4つの経済環境**で、それぞれ2つずつ優れたパフォーマンスを発揮する資産を選ぶのです。

		成長	インフレ
市場の予想	高い	米国株 コモディティ	金 コモディティ
	低い	米国債 20年超 金	米国株 米国債 20年超

出所: bridgewater, Evoke Advisors, 筆者一部編集